

平成25年度（2013年度）事業報告

1. 全体評価まとめ

- (1) もったいない運動では、地域まつりやイベントで精力的にPR活動を行うとともに、小学校や図書館への出前授業を積極的に実施した。
- (2) エコセンター事業数および参加者数が頭打ち傾向にある。一般区民の方の要望が多様化していることから、事業内容の工夫や新たな事業展開が求められている。
- (3) 環境教育・人材育成事業の長年の活動が評価され、環境教育活動部門で、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞した。
- (4) 「省エネ・節電チャレンジ」と連動して「省エネナビ」貸出事業をスタートさせ、家庭の省エネをより効果的にすすめることができた。
- (5) 区の清掃課や商店街連合会と協働で「マイバッグキャンペーン」を実施した。
- (6) エコカンパニーえどがわの年間レポートの提出が一部の事業所で滞りがちになっており、より一層の周知が必要である。
- (7) フェイスブックやブログを日々更新し、活動内容をリアルタイムに発信することができた。
- (8) 水辺環境調査は、荒川の調査年で、悪天候による日程変更もあったが、例年通りの調査を行うことができた。また、報告書も内容の見直しを行い充実したものができた。

2. 次年度へ引き継ぐ重点課題

- (1) 子ども未来館や商工会議所等との連携を強化し、新たな人材育成事業を展開する。
- (2) 会員向け研修会・講演会等を行い、事業の活性化につなげていく。
- (3) 省エネナビや省エネルギーセンターの診断ツールを活用して、省エネをすすめようとする家庭に、よりきめ細かなアドバイスを提供する。
- (4) 区の清掃課や商店街連合会との協働でより効果的なキャンペーンを展開する。
- (5) エコカンパニーえどがわ登録事業所に、年間レポートの提出を周知し、登録のメリットとして区の新資金融資制度等を紹介する。
- (6) データベースを活用して会員や参加者の趣向をつかみ、参加呼びかけや新たな事業展開に役立てる。
- (7) 水辺環境調査について調査員の人材育成に努める。また、データの活用方法について区と協議していく。

3. 事業評価

活動項目		平成 24 年度	平成 25 年度	比較
事業	事業実績件数	196 件	214 件	18 件
	参加者数	16,024 人	15,796 人	△228 人
会員等	会員数	270 件	252 件	△18 件
	ボランティア参加者数	190 人	118 人	△72 人
	もったいない運動登録者数	89,504 人	95,330 人	5,826 人
財務	区補助金実績	50,746 千円	40,118 千円	△10,628 千円
	民間等助成金実績	2,121 千円	2,292 千円	171 千円

4. 科目別事業評価

活動項目	事業数	参加者数
(1) 環境教育・環境学習の推進事業	15 件	382 人
(2) 人材育成事業	23 件	299 人
(3) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業	138 件	12,450 人
(4) 情報の提供及び支援事業	4 件	1,351 人
(5) 自然環境の保全と活用	34 件	1,314 人
計	214 件	15,796 人

(1) 環境教育・環境学習の推進事業

○結果

- ①グリーンプラン推進校が累計で 63 校(園)になった。推進校制度が定着し、希望する学校が増えてきている。
- ②江戸川区すくすくスクール係との連携体制が整いつつあり、今後、すくすくスクールでの子ども放課後環境学習事業の拡大が期待できる。
- ③子どものための環境学習リーダー養成講座「子ども環境教室」をスタートさせ、試行版として夏休み企画を実施できた。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①グリーンプラン推進校の各活動日に学校を訪問し、学校との連携を深める。
- ②子ども放課後環境学習では、引き続き江戸川区すくすくスクール係と連携を密にして実施校を増やしていく。
- ③子ども環境教室事業が軌道に乗るように、子ども対象の事業実施団体の協力を得るなどして、参加者確保に努める。

(1-1) 学校等環境学習支援

項 目	計 画	実 績
環境学習支援（グリーンプラン推進校）	10 校	10 校
出前授業等の実施	4 回/200 人	2 回/121 人 ※おきがる環境講座
子ども放課後環境学習支援 （すくすくスクール）	6 回/300 人	3 回/130 人 ※うち、おきがる 環境講座で1回/31人
子ども環境教室（3回連続講座）	-	3 回/22 人

(2) 人材育成

○結 果

- ①生ごみリサイクル講習会の参加人数が減少傾向にある。
- ②おきがる環境講座では、従来からの東京ガス㈱東部支店に加えて、あらたに㈱花王とのパートナーシップによる環境学習を実施することができた。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①講座に加えて、いつでも気軽に受講できる「出前講座」を実施する体制を整える。
- ②東京商工会議所江戸川支部との共催で、おきがる環境講座にエコ検定向けメニューを導入する。

(2-1)環境学習リーダー養成講座

項 目	計 画	実 績
おきがる環境講座開催	14 回/400 人	11 回/210 人

※おきがる環境講座の中で、子ども環境学習については環境教育・環境学習の推進事業に計上

(2-2)生ごみリサイクル講習会

項 目	計 画	実 績
生ごみリサイクル講習会開催	12 回/140 人	12 回/89 人

(3)区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業

○結 果

- ①家庭以外に「みどりのカーテン」モニターの領域を広げて施設や事業所に登録を呼びかけ、エコカンパニーえどがわ登録事業所で6件の参加があった。
- ②「みどりのカーテン」モニター交流会、フォトコンテストが定着した。
- ③全体的な節電意識の低下、継続して消費電力量を削減することの限界等から「省エネ・節電チャレンジ」参加世帯が半減した。
- ④エコカンパニー登録事業所の一部で年間レポート提出が滞りがちであり、文書で提出を促した。
- ⑤清掃課と連携して区役所展示コーナーでマイバッグキャンペーンの展示を行った。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①子ども未来館で育てている「みどりのカーテン」での温度測定からCO2削減効果を算出して、モニター事業全体のCO2削減効果を数値化してPRする。
- ②「省エネ・節電チャレンジ」の参加世帯が減少したため、チャレンジ期間3カ月を2カ月に短縮して、参加世帯拡大をめざす。
- ③事業所を訪問し、年間レポートの提出を周知するとともに区の新融資制度の紹介をする。
- ④区の清掃課と協力し、6月の環境月間と10月の3R月間に、スーパーや商店街に加えてコンビニエンスストアでも「マイバッグキャンペーン」PRを展開する。

(3-1)もったいない運動えどがわの推進

項 目	計 画	実 績
もったいない運動登録者の拡大	94,000 人	95,330 人
もったいない運動えどがわ区民大会の開催	5,000 人	4,500 人
地域活動支援（図書館事業）	100 人	2 回/33 人
地域イベントへの参加	6,050 人	14 回/5,317 人
「水」環境学習	-	2 回/279 人

(3-2)省エネ・新エネルギーの推進

項 目	計 画	実 績
省エネ・節電チャレンジ	400 世帯	148 世帯
省エネナビ貸出	実施	説明会 4 回/40 世帯 (夏 29 世帯、冬 11 世帯) 懇談会 1 回/2 人
環境に配慮したエコライフ講座、講習会等の開催	20 回/400 人	20 回/221 人
「みどりのカーテン」の普及啓発	400 件	講習会 12 回/305 件 交流会 1 回/19 人

(3-3) 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

項 目	計 画	実 績
マイバッグキャンペーン	春・秋2期	春・秋2期実施
3Rに関する講座、講習会等の開催	50回/1,050人	65回/899人
エコセンターおもちゃの病院	12回/200件	11回/192件

(3-4)事業者の取組み推進・支援

項 目	計 画	実 績
エコカンパニーえどがわ登録事業者の拡大	20件	9件
エコカンパニーえどがわ普及啓発講座	200人	—
ECE登録事業者への省エネルギー相談	実施	実施

(3-5)商店（街・会）やスーパーのエコ活動支援

項 目	計 画	実 績
商店街主催イベントへの支援	3回/900人	4回/495人 (江戸川共栄、松江大通り、瑞江駅前三商店会、平井親和会)

(4)情報の提供及び支援事業

○結 果

- ①フェイスブックやブログでリアルタイムな情報発信ができた。
- ②エコセンターパンフレット「共育・協働の環境づくり」、冊子「団体会員活動内容のご案内」を作成した。
- ③多目的ルームが講座講習の会場、会員相互の交流や、活動の場所として活発に利用されるようになった。
- ④エコカンパニーえどがわ登録事業所に会員入会を呼びかけ18件の入会があった。
- ⑤会員、講座講習参加者の情報を一元管理できるデータベースを導入した。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①えどがわエコセンター主催事業で、パンフレットおよび冊子[A5版]を参加者に配布して、活動内容の理解や認知度の向上につなげる。
- ②月刊イベント開催カレンダーを図書館やコミュニティ施設に配布し、認知度の向上につなげる。
- ③会員向けの講演会・バスツアー等を実施して会員間の交流をすすめる。
- ④会員にアンケートを実施し、ニーズの把握に努める。

(4-1)情報の発信と提供

項 目	計 画	実 績
「エコちゃんねる」の発行	4 回	31 号 3,000 部 32 号 3,000 部
ホームページの運営・管理	実施	実施
リーフレット等の改訂&印刷	実施	5,000 部
多目的ルームの活用	実施	実施

(4-2)他団体との連携・活動支援

項 目	計 画	実 績
江戸川総合人生大学への講師派遣	実施	実施
葛西臨海たんけん隊による インタープリター養成講座	35 人	—
葛西臨海たんけん隊特別プログラム	-	2 回/1,151 人
キッズライド実行委員会 事務局共催事業（自転車利用の促進）	350 人	2 回/200 人
自然体験活動推進協議会(CONE)、 環境教育フォーラム等との連携	実施	—

(4-3)相談業務

項 目	計 画	実 績
会員等からの団体運営や事業等の相談	実施	実施

(4-4)会員の拡大

項 目	計 画	実 績
あらゆる機会をとらえてのPR	実施	新規 58 件（正 34/賛助 24） ※うち、ECE 事業所 18 件

(5)自然環境の保全と活用

○結 果

- ①水辺環境調査の調査地点として、葛西臨海公園・冬季の鳥類を追加した。
- ②鶴岡自然学校の申込み人数が少なくやむなく中止となった。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①水辺環境調査の調査員の引継ぎや増員をすすめる。
- ②宿泊事業に関わらず、友好都市・鶴岡市(東京事務所)との連携による事業実施を検討する。

(5-1)水辺環境調査

項 目	計 画	実 績
新中川、江戸川・旧江戸川、荒川、葛西沖の水辺環境調査（受託事業）	実施	荒川・葛西沖 8回/51人

(5-2)自然復元・再生事業

項 目	計 画	実 績
河川や海岸のクリーン作戦を通じた自然環境の復元を進める	360人	4回/544人
絶滅種や生物多様性に関する啓発を進める（ムジナモ・ビオトープ）	150人	4回/96人

(5-3)自然観察会・えどがわ自然学校

項 目	計 画	実 績
えどがわ自然学校や自然観察会等を通じ、自然に触れる	640人	18回/623人
鶴岡自然学校の実施（宿泊体験）	実施	中止
自然活動用啓発冊子、安全にかかわる情報提供	実施	実施